

令和2年度第2回 協力病院連絡会議(報告)

日時:令和2年 12月 11日(金)14:00 から

Zoom 会議による

出席者:教育協力病院 31 病院

川真田附属病院長の挨拶により開会し、
森医学教育部門長が進行を担当した。



1. 新型コロナウイルス感染症に係る臨床実習における対応・・・資料No.1

森医学教育部門長より、本年7月に開催した第1回連絡会議以降の実習の対応について資料に基づき報告された。

実習先病院の参加者から下記の意見があった。

- ・ インフルエンザワクチン一斉接種を教育病院への派遣前に実施していただきたい。
- ・ 発熱学生が大学に戻ることが可能な場合は、即大学へ戻り、PCR 検査をしてほしい。検査を翌日に行うとなれば、もし当該学生が陽性であった場合に病院としての対応が遅れてしまう。早く結果が分かれば、病棟閉鎖、職員チェックなどの対応ができる。
- ・ 学生の行動について把握できるとありがたい。発熱者が流行地に移動していた等であれば、事例があると、注意レベルがかわってくる。
- ・ 病院職員がコロナウイルス感染症に感染し、実習を一時中断したが、今後も感染対策をしながら、引き続き実習受け入れを行いたい。

2. 令和2年度「150通りの選択肢からなる参加型臨床実習」受入と実績・・・資料No.2

森医学教育部門長より資料に基づき、今年度のコース組みと配属者数について報告ののち、令和3年度のコースについてのご要望を年度内に照会する旨、説明があった。

3. クリニカルクラークシップⅡにおける担当症例について・・・資料No.3

森医学教育部門長より資料に

基づき報告があり、「コロナウイルス感染症により多忙な中、昨年と変わらない担当数となっており、感謝申し上げます。引き続きご指導願いたい。」と依頼があった。

4. 令和2年度150通り実習 第2～3クール学生による感想・・・資料No.4

森医学教育部門長より、「病院ごとの感想をまとめたので、お目通しいただきたい。」と説明があった。

5. 日本医学教育評価機構による受審結果について・・・資料No.5

森医学教育部門長より、無事審査を終えた報告と感謝が述べられた。

本会議に引き続き卒業臨床研修管理委員会を開催し、議事後、参加した全病院からヒアリングを行った。挙げられた意見要望は下記の通り。

- ・ 学生の若い姿は刺激になる。コロナウイルス感染症が拡大しているが、感染症対策をしながら実習受け入れを継続していきたい。
- ・ 職員のコロナウイルス感染症感染で、一時実習を中断しお詫び申し上げます。感染対策をしながら、今後も受け入れを続けたい。

- ・ コロナウイルス感染症により診療参加に関し制約が生じるが、シミュレーションセンターの機能を活かし、安全な指導環境を提供していきたい。
- ・ 150通りの学生については例年通り個人差がある。個別に対応しながら指導している。
- ・ コロナウイルス感染症の影響で入院数が減っている状況での指導となっている
- ・ 無断遅刻や学習態度がよろしくない学生がいて苦慮したが、他病院での状況をお聞きしたい。学生指導は社会人前の教育を行う場と捉えて、厳しく対応していきたいと考える。
- ・ 配属学生は真面目に参加していると感じる。フィルムバッチが全員分用意できないので、可能であれば借用したい。
- ・ 宿舎のホテルが近いからか遅刻学生はいなかった。現在は職員のコロナウイルス感染症が確認されたため実習受け入れを停止しているが、再開を検討していきたい。
- ・ 他大学の臨床実習生とも交流できることが自病院の魅力でもある。研修医の評価は難しいが、達成できたらどうなるか、に置き換えた表を作成し、評価を行っている。
- ・ FDは医学教育を知ることができる機会である。開催が難しい状況ではあるが引き続き開催してほしい。
- ・ 学生にPCR検査を行った後に、実習参加可能としている。また、学生に事前に実習についての希望を聞き取り、それに沿った実習をしている。これにより診療科の風通しもよくなっていると思う。

外部委員としてご参加の信州SP会代表の白澤様より、「コロナ禍でのご指導ご助言に感謝申し上げます。OSCEでは学生の個性の違いを発見でき、SPとしても楽しみである。今後も医学教育に協力していきたい。」とご挨拶があった。

増田臨床研修部門長より「初めてのオンライン開催となったが、開催方法に関してご意見等あればお寄せいただきたい。」とお願いの後、ご参加に対するお礼が述べられ、閉会した。

以上